

静岡市ろうあ協会報

第003号

発行所 静岡市葵区城内町1-1
静岡市中央福祉センター
発行人 小泉 秀力
編集人 森 匡之
発行日 平成20年01月08日

駿府匠宿で1日陶芸体験



写真:陶芸体験の様子



写真:駿府匠宿にて

- ◇実施日 : 平成19年10月14日(日)
- ◇場 所 : 丸子の里のおもしろ工房 駿府匠宿
(詳細は下記参照)
- ◇参加人数 : 11名、但し通訳は除く
(内訳: 青年部6名、女性部5名)

10月14日(日)に駿府匠宿にて、青年部と女性部の交流会を含めた「1日陶芸体験」が行われました。陶芸体験は、インストラクター&ビデオによる説明を受けた後、粘土選び、体験という流れでした。

今回使用した粘土は、色々な種類がありましたが、種類によっては焼き上げ後に色が大きく変わってしまったたり、ひび割れを起こしてしまうものもあるそうです。これは陶芸の「味」として楽しめるので良いのではないのでしょうか。

この後、湯のみ、茶碗、皿など、自分が作りたいものを作ったりと、思い思いの陶芸を楽しんでいきました。

今回作った陶芸は出来上がりまで約2ヶ月を要するとの事でした。

また、陶芸体験終了後は参加者全員で茶話会に参加し、お互いの親睦を深めました。

今回は団体での参加でしたが、個人で参加する事も可能です。機会があれば、体験してみたいかでしょうか。(詳細は下記参照)

丸子の里のおもしろ工房 駿府匠宿

所在地 静岡市駿河区丸子3240-1

開場時間 午前9時～午後5時(7月20日～8月31日は午後6時まで)

休場日 年末年始(12月30日～1月1日)

駐車場 乗用車約300台収容、1日400円

アクセス JR静岡駅北口の中部国道線(6番線)で約30分、「吐月峰入口」下車、徒歩約5分

お問い合わせ先 054-256-1521(代表)

<http://www.Sunpurakuichi.Jp/takumi>

防災学習会

迫り来る東海大地震に備えて
～自分の身は自分で守れ！～

◇実施日：平成19年10月21日(日)

◇参加人数：57名、但し通訳は除く

◇場所：静岡県地震防災センター
(静岡市葵区駒形通5-9-1)



写真:午前の部(イメージトレーニング)の様子

午前の部は、3つのグループに分かれて「実際に地震が起きたら怖いと思うものは何か？」をテーマにしたイメージトレーニング、実際に地震が起きた場合のシミュレーションを体験する体験見学が行われました。

イメージトレーニングは、出されたテーマを元に各グループ内で意見を出し合いました。

体験見学は、起震装置や消火の体験、津波のシミュレーションの見学、非常用持出品をはじめ、備蓄品や耐震コーナーの紹介がありました。

また、昼食は「地震発生後の食料難を想定した非常食を体験してもらう」ということで、おむすび1個とお茶のペットボトル1本が支給されました。



写真:午後の部(講演会)の様子

午後の部は、「阪神大震災の教訓」をテーマにしたビデオ上映と静岡県地震防災センター所長を務める小澤邦雄氏の講演、討論が行われました。

ビデオ上映と講演はセットで行われましたが、内容はビデオ上映が阪神大震災のドキュメントを中心に、講演は東海地震に備えておく事、もし起きたらどのように対応すべきかを中心にお話されました。

続いて、討論の内容は午前中のイメージトレーニングで出された意見を元にどういう対策を取るかの話し合いが進められ、最後に各グループでまとめた結果の発表を行いました。

参加者の皆様もこれをきっかけに防災に対する意識が少しでも高まったのではないのでしょうか。



写真:防災グッズの展示

10月21日(日)静岡県防災地震センターにて防災学習会が行われました。

防災学習会は「迫り来る東海地震に備え」としてのテーマで「自分の身は自分で守れ！」の目的を学習したいと思い、計画をたてて実施し、参加者は57名(ろうあ者41名、手話サークル13名、静岡市社会協議会2名、静岡市障害者協会1名、手話通訳者を除く参加数)でした。午前10時から午後4時まで「話し合う」「観て学ぶ」「体験して十分よく呑み込む」という時間割りを収縮して意義ある行事でした。防災学習会の1日で静岡県地震防災センターの小澤所長にお付き合い頂いたことが大変嬉しいです。

災害対策委員会 事務局長 大村圭男

第20回静岡県デフ・ヤングフェスティバル

- ◇実施日 : 平成19年11月11日(日)
 ◇場 所 : 掛川市立第一小学校体育館
 ◇参加人数 : 60名以上



写真:開会式の様子

11月11日(日)掛川市立第一小学校体育館にて「第20回静岡県デフ・ヤングフェスティバル」が開催されました。

今回は「大運動会」として、チーム対抗戦を10種目の競技で行いました。玉入れ、パン食い競争など、運動会の定番でもある種目にユニークなアイデアを取り入れた種目がいくつかあり、それに競技者が苦戦するシーンもありました。

また、個人の競技があれば、団体の競技もありましたが、それにただ勝負するだけでなく、個人種目は誰が出場するのかをチーム内で相談する点が交流を深めるきっかけにつながったのではないのでしょうか。

参加された皆さんも、日頃の運動不足を解消するという意味で良い運動になった事と思います。

第41回全国ろうあ青年研究討論会

- ◇実施日 : 平成19年11月23日(金)～平成19年11月25日(日)
 ◇場 所 : 滋賀県大津市
 ◇参加人数 : 35名(うち静岡支部12名)

11月23日(金)～25(日)に滋賀県大津市にて、「第41回全国ろうあ青年研究討論会」が開催されました。この大会の参加者数は約370名でしたが、静岡県から35名という、全国2位の参加者人数が集まりました。

1日目は開会式に始まり、この後に行われた記念講演は、ベルギーの国会議員をつとめる聴覚障害者のヘルガ・スティーブンス女史をお迎えし、彼女の生い立ちを始め、海外の福祉情勢についてお話しされました。この後、琵琶湖を周遊する遊覧船にて全国からの参加者同士での交流会が行われました。

2日目は、入門(ろうあ運動)、入門(福祉体験)、手話、労働、国際、政治、人生、スポーツ、と8つの分科会に分かれ、それぞれ情報交換を行いました。

3日目は、2日目の分科会発表が行われましたが、静岡支部から何名かが発表者とステージに立つという大役をつとめました。

来年は高知県です。青年部の皆さん、是非参加しましょう！



写真:開会式の様子

～全体の流れ～

- ・1日目 : 開会式、記念講演、交流会
- ・2日目 : 分科会
- ・3日目 : 分科会発表、閉会式

ありんこの里をつくる会 チャリティ絵画展



写真:ジャネット・ルール画伯を囲んで

12月7日(金)～9日(日)に清水文化センター2Fギャラリーにて、「ありんこの里をつくる会 チャリティ絵画展」が行われました。

この3日間で、約850名の来場、絵画など39点・1000万円以上の売り上げがありました。また、バザーの売り上げをはじめ、募金が25万円近く集まりました。この収入は、ありんこの里をつくる会の施設建設に向けての資金になります。

お手伝いして頂いた方々をはじめ、ご来場頂いた方々、またご購入下さった方々にこの場を借りてお礼申し上げます。

清水昼ブロック・夜ブロック忘年会



写真:清水夜ブロック代表・柏木さんの挨拶

12月15日(土)に「いさみ寿司」(清水区)にて、清水昼ブロックと夜ブロックの合同で忘年会が行われました。

参加者は清水昼ブロック18名、清水夜ブロック6名の合計24名が集まり、中には手話サークル会員の顔もありました。

夏に行われた交流会は会食だけで終わってしまいましたが、今回は席をくじ引き形式でランダムに決める、ゲームを取り入れながらの交流と、参加者も大いに楽しまれたようです。

同じ清水区にいながら普段顔を合わせる機会はないですが、お互いの顔を覚えるきっかけになったのは良かったと思います。

蒲原地区手話サークルの現状



写真:波の子会定例会

前号で「蒲原地区手話サークルへの講師派遣について」を告知しました。現在は、静岡ろうあ協会の役員を中心に講師を派遣しています。機会があれば、蒲原地区の手話サークルにも顔を出してみたいかがでしょうか。

＜蒲原地区の手話サークルの活動状況＞

☆かえでハンズ

毎週火曜日/10:00～12:00 白銀すこやかセンター

☆波の子会

毎週火曜日/19:30～20:45 白銀すこやかセンター

ご存知ですか？緊急時のFAX連絡について

警察や消防署への連絡は電話しか出来ない？
今はどちらもFAXで連絡が出来るようになっています。

FAX番号は「警察 110 / 消防署 119」とダイヤルするだけで連絡ができます。

前回、配布した緊急通報用FAX用紙は「火災・救急」の時に、種別等を記入し、119番をダイヤルしてFAXの送信をしてください。

WEB119システムについて

静岡市では声による119番通報が困難な方を対象に、Web119(携帯電話のインターネット接続機能を利用した緊急通報)システムを導入しています。
必要事項を記入して各区障害者支援課まで申し込んでください。

[参考資料]

http://www.city.shizuoka.jp/deps/sirei/fax_ip_119tel.html

「ヘレンケラーを知っていますか」上映会実行委員会スタート

ヘレンケラーを知っていますか



聴障しずおかにも掲載されたように、来年「ヘレンケラーを知っていますか」上映会を静岡県内で行うことになりました。そのため、静岡支部としてサークルや通研と共に上映会実行委員会を立て、準備を進めています。

当面の予定としては、3/15(土)に他団体の招待客による試写会をは一とぴあ清水で行います。
試写会に来られた招待団体の中から、自分たちの団体で上映会を行うよう促すための試写会ですので、一般会員は鑑賞することが出来ません。

一般会員の方は、3/2(日)の「輝け静岡 みみの日大会」にて「ヘレンケラーを知っていますか」上映がありますのでそちらの方にお申込下さい。

なお、静岡支部の上映会は未定です。

[参考資料]

<http://www.helen.jp/>

今後の行事予定 ※詳細については、各行事の案内ビラで確認してください。

日程	内容	場所
2008/01/20(日)	聴覚障害者の生涯学習会	静岡市中央福祉センター
2008/01/27(日)	第12回ろう教育静岡フォーラム	浜松市福祉交流センター
2008/02/09(土)	老壮年部・茶話会	静岡市中央福祉センター
2008/02/16(土)～17(日)	中部手話サークル連絡会一泊研修会	島田市・プラザおおるり、山の家
2008/02/23(土)	体育部・ボウリング大会	狐ヶ崎ヤングランドボウル
2008/02/24(日)	青年部・スキーバスツアー	長野県・白馬五竜
2008/03/02(日)	輝け静岡みみの日大会	藤枝市民会館
2008/03/09(日)	静岡県ろうあ手話通訳問題研究集会	
2008/03/16(日)	静聴協通常総会	
2008/03/22(土)	静岡県地域リーダー養成研修会	富士フィランセ

ホームページ・ブログの紹介

聴覚障害者の情報獲得に大きく貢献しているインターネット。静岡県の聴覚障害者への情報発信としてよく使われているホームページやブログを紹介しします。静聴協の各種行事や書籍紹介など、見ていて損はありません。また、情報センター手話動画ブログも、知る人ぞ知る「月曜男」が大活躍です。ちなみに月曜男は当ろう協会員です。

社団法人静岡県聴覚障害者協会ホームページ
 静岡県聴覚障害者情報センターホームページ
 静岡県聴覚障害者情報センターブログ
 静岡県聴覚障害者情報センター手話動画ブログ

<http://www.e-switch.jp/sz-deaf/>
<http://www.e-switch.jp/szdi-center/>
<http://blog.goo.ne.jp/szdi-center>
<http://szdi-center.cocolog-nifty.com/blog/>

訃報のお知らせ

静岡市登録手話通訳者で活躍していた前田美保さんが2007/11/11に病気で亡くなりました。聴覚障害者の福祉向上のために多大な貢献していただきました。静岡市ろうあ協会としても惜しい人を失うことは痛恨の極みであります。前田美保さんのご冥福を心よりお祈り申し上げます。

ご冥福を心よりお祈り申し上げます。

清水夜ブロック会員
 深沢雅夫さん

原稿募集

団体の動き、話題、会員消息、問題提起など、
 どんどん原稿を出して下さい。

☆締切日 3月7日

☆投稿先

FAX 054-354-0184
 Eメール gdeh_tree3@yahoo.co.jp
 機関紙担当 森 匡之

※次回発行(4号)は、4月7日の予定

編集後書き

2007年の機関誌も今回で最後の発行となります。今号からレイアウトを少し変更してみました。いかがでしょうか。ページのレイアウトに意見があれば、どんどん頂けたらと思っています。

また、原稿等もお待ちしています。(連絡先は左枠参照。)

総務部員・機関紙担当 森 匡之